

Quick調査レポート「インスリン用針の廃棄に関する調査」

Topics

- ✓ 患者に対する使用済みインスリン用針の廃棄方法の説明は、看護師が担当することが多いが、患者では「どこからも説明・指示なし」が2割弱を占めた
- ✓ 患者が用いる使用済みインスリン針の廃棄容器について、糖尿病・代謝・内分泌の医師では「専用の廃棄容器」が最も多く挙げられたが、患者では「ペットボトル」の利用率が高く、自己負担のない容器を使用しているケースが多いことが示された
- ✓ 使用済み針の最終的な廃棄先は、医療機関が圧倒的に多いものの、患者のなかには家庭ごみ集積所に出しているケースもあり、適切な廃棄方法の浸透が望まれる

調査背景・目的

- ✓ インスリン注射の使用済み針は、適切な方法で廃棄されないと、針刺し事故のリスクがある。
- ✓ 使用済み針の廃棄方法について、インスリン治療開始時に指導する立場である医療機関（医師）と、実際に廃棄する患者の両方から、実態を把握する。

調査概要

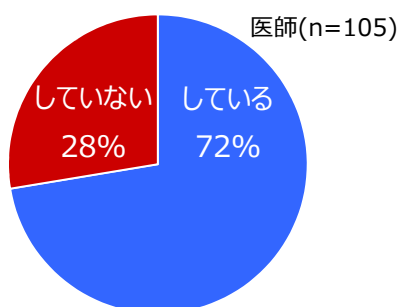
調査方法：インターネット調査 *クイックサーベイ
 調査地域：全国
 調査対象：医師（糖尿病・代謝・内分泌）
 患者（インスリン注射剤使用）

有効回答：医師 105s
 患者 105s
 調査期間：医師 2015年12月21日～12月22日
 患者 2015年12月17日～12月21日
 調査主体：株式会社アンテリオ Quick Survey室

調査結果

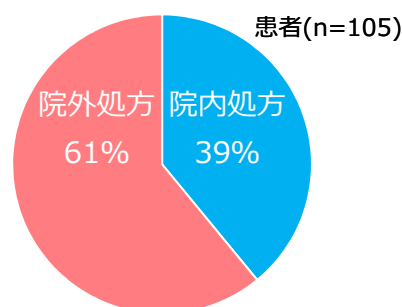
医師 勤務先でのインスリン用針の院内処方

単一回答



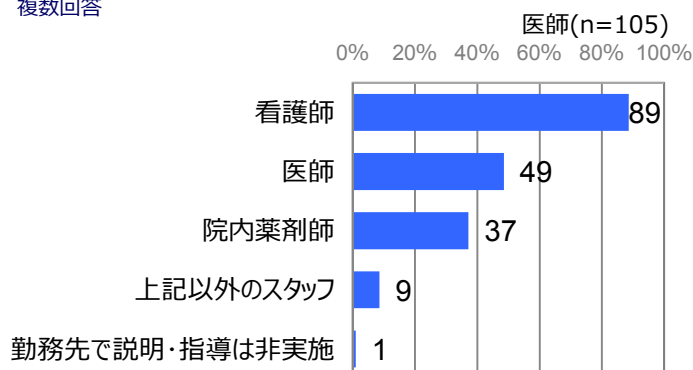
患者 インスリン用針の購入方法

単一回答



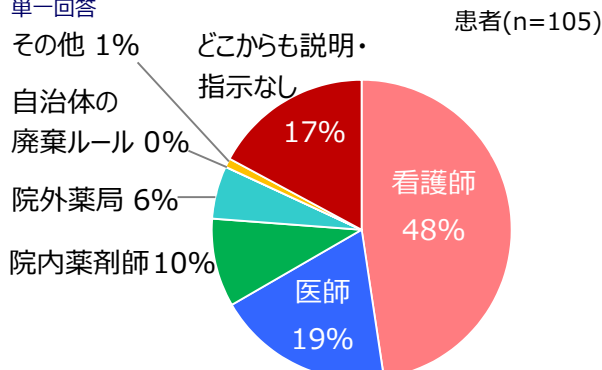
医師 患者への使用済み針の廃棄方法の説明

複数回答



患者 誰から廃棄方法の説明を受けたか

単一回答

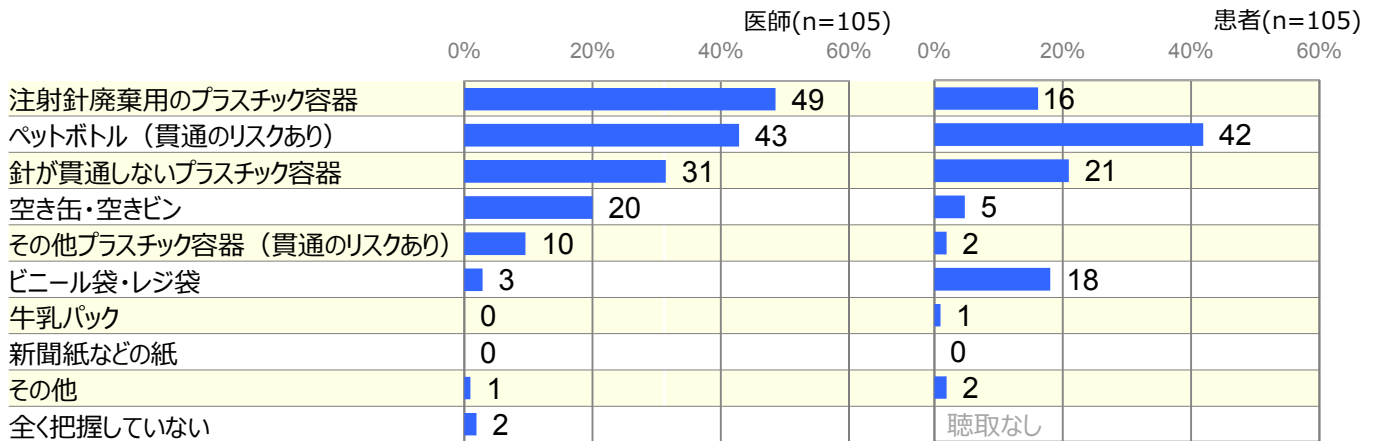


医師 患者 患者が使用済み針の廃棄に用いる容器

複数回答

医師:診療している患者について

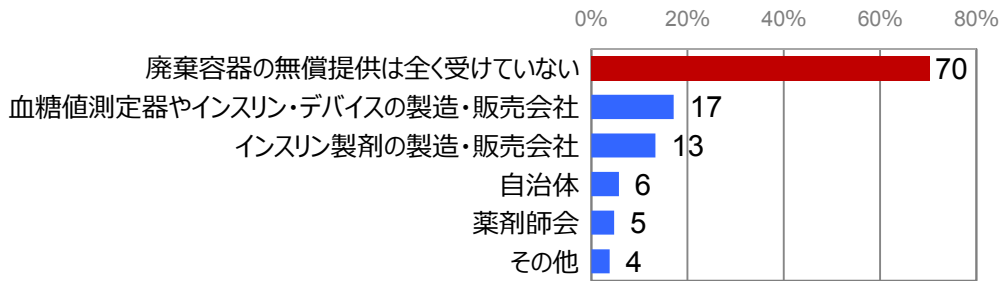
患者:自身について



医師 勤務先に患者配布用の廃棄容器を無償提供してくれる組織

複数回答

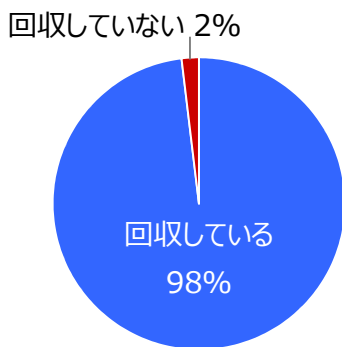
医師(n=105)



医師 勤務先での使用済み針の回収

単一回答

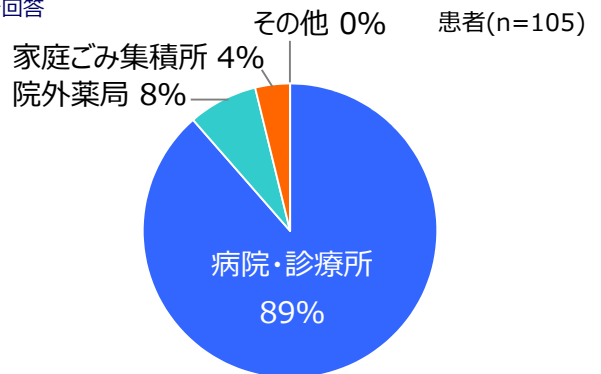
医師(n=105)



患者 使用済み針の最終的な廃棄先

単一回答

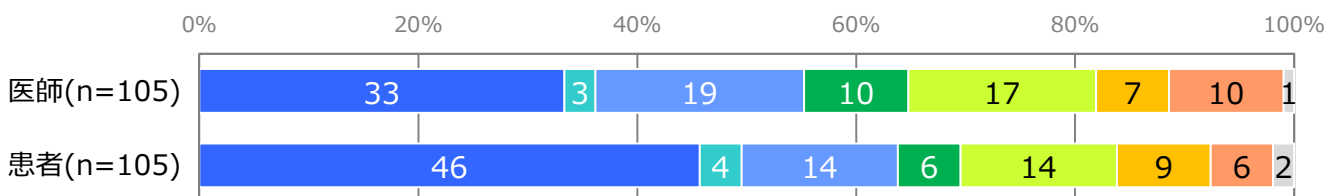
患者(n=105)



医師 患者 使用済み針の廃棄費用を負担すべき対象

単一回答

- 病院・診療所 (治療先)
- 院外薬局
- 針の販売者*
- インスリン製剤の製造・販売会社
- 注射器や針の製造・販売会社
- 自治体
- 患者
- その他



*患者に針を販売した病院・診療所もしくは院外薬局